

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.37

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	文化振興事業	担当部署	市民環境部 文化交流推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市文化のまちづくり基本計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 46 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なる			終期	<input type="text" value=""/>
(小項目)		文化振興				
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進				
基本事業	2	市民が参加・体験する機会づくり				
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流し、にぎわいづくりを推進する。		事業内容 (R1)	5月に文化展、10月に市展、11月に芸能祭を開催し、3月に市民文芸を発刊する。また、文化月間(5月15日～6月14日)協賛イベントを募集し、決定した協賛イベントについて広報活動を実施したほか、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める。文化芸術活動の活性化のため、文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行う。さらに、令和3年度に文化協会創立50周年を迎えるにあたり、記念事業の実施を検討し、さらなる文化振興活動の推進を図る。					
実施方針	1. 鳴門市文化展・市展・芸能祭の開催及び市民文芸の発刊や市民ギャラリーその他文化事業を推進する。 2. 文化芸術活動の情報提供や音響・照明・映像機器の貸し出しなど、文化芸術活動を支援する。 3. まちづくりに取り組む文化芸術活動を広報等で紹介したり、助成金申請等の相談に応じることで、文化芸術活動の活性化をサポートする。 4. 文化のまちづくり基本計画を基礎とした文化振興活動を行う。			当初からの 変更点					
				平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	芸術祭開催延べ日数		27	27	27	27	27	日
	2	市民文化講座数		16	16	16	16	16	講座
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	文化ボランティア団体数				24	24	30	30	30

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の検討	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の準備	①芸術祭(文化展・市展・芸能祭)の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年事業の実施

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,164	0	1,164	1,138	1,138

事務事業名	文化振興事業
-------	--------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	5月に文化展、10月に市展、11月に芸能祭を開催し、3月に市民文芸を発刊した。また、文化月間(5月15日～6月14日)協賛イベントを募集し、決定した協賛イベントについて広報活動を実施したほか、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努めた。また、文化芸術活動の活性化のため、文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行った。さらに、令和3年度に迎える文化協会創立50周年に向けて、記念事業検討会を開催した。
--------	-----------	---

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 芸術祭開催延べ日数	27	26	26	26	26	日
	2 市民文化講座数	16	17	17	17	17	講座
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	文化ボランティア団体数	24	24	24	24	24	団体
	目標達成率(実績/目標)		80.0				%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算				
			前年度からの繰越決算額		決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
			計				
財源内訳	計	1,067,760	0	1,130,768	0	1,130,768	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	使用料・手数料	0	0	0	0	0	
	その他	1,800	0	1,200	0	1,200	
一般財源	1,065,960	0	1,129,568	0	1,129,568		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	文化ボランティア団体数		成果指標に対する所見	高齢化が進んでいる団体が多く、担い手を確保できない団体については活動継続が困難になりつつあり、目標に届かなかった。		
	目標	30	団体				
	実績	24	団体				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	高齢化が進み、担い手を確保できない団体が活動継続が困難になりつつある。既存の文化事業を継続して実施するとともに、さらなる文化振興、にぎわいづくりのため市内各課との連携を図り、NPO等関係団体の協力を得ていかなければならない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	文化団体の活動を広報等で紹介したり、助成事業等の相談に応じたりすることで、文化ボランティア活動の活性化を図る。また市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流する機会を創出し、にぎわいづくりを推進する。
	令和3年度	前年度の検証を行い、引き続き文化・芸術を通じたにぎわいづくりを推進する。